

○ 黒野城と 加藤貞泰公研究会



会報 甦る! 黒野城

稲刈りも終わってよいよ本格的な冬を迎えようとしています。御望山と田園広がるこの風景は、黒野を代表する風景美の1つでもあります。

会報「甦る! 黒野城」創刊号の発行以来、早1年が経ちました。研究会の黒野地区における活動は順調に進み研究会は地域にとって欠くことのできない存在になってきました。

本号では、昨年引き続き発掘調査が行われた黒野城本丸の様子や、研究会の1年間の活動報告などについてお伝えしてきます。

2015.11 vol. 2

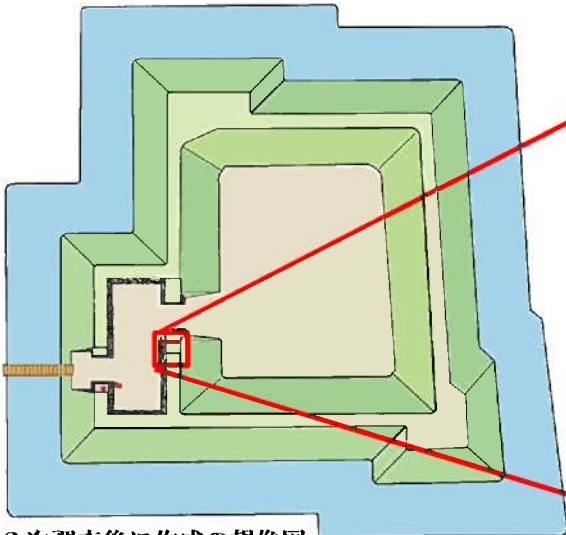


黒野城・三之丸搦め手側の土塁跡から
400年前の武将が「黒野探訪」で突如出現!!

黒野城跡・瓦初出土／近世城郭の裏付け！

今年も岐阜市教育委員会による黒野城跡・本丸の虎口で発掘調査が行なわれました。黒野城は平成25年（第1次調査：北西隅櫓の痕跡調査）、平成26年（第2次調査：本丸虎口の枡形確認）に引き続き、第3次調査となります。今回（平成27年）は、昨年度に発見された虎口の石垣が延長していると考えられる南側の土塁裾付近・2か所の石垣や土塁の痕跡が確認されました。

去年は、下図（上）に示す位置を発掘したところ、砂岩の石列及び裏込石（川原石）が発見されました。

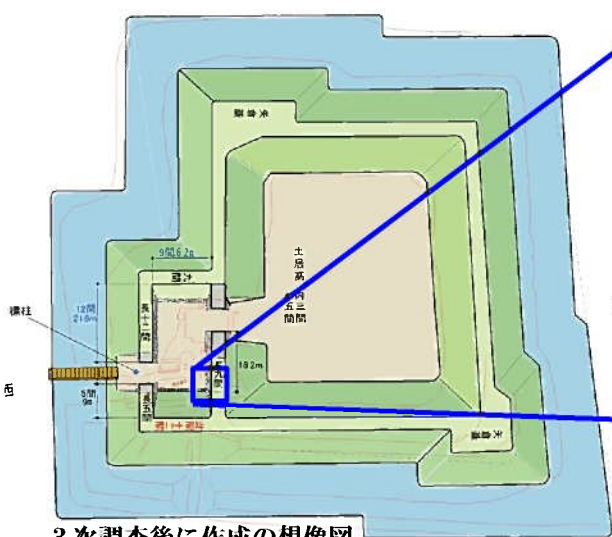


2次調査後に作成の想像図



今年は、さらに南側の土塁の裾野辺りを2か所ほど発掘したところ、下図に示す位置に石列及び裏込石（川原石）の他に丸瓦の一部も発見されました。現地の様子から、石垣は昨年発見の位置からまっすぐ南側に延伸し、途中で西側に屈曲していること、また新たに想像される南側石垣のラインが判明しました。

さらに、黒野城跡で数点の瓦が発見されたのは調査以来初めてのことで、虎口の城門などに瓦が用いられていた可能性が高いことなどが判りました。



3次調査後に作成の想像図



これらの発掘成果により、城郭研究専門家の中井均氏は、「今回検出された石材は、昨年度の調査で検出された石列と方位が一致しており、本丸虎口に構えられた枡形であることは間違いない。さらに石材と裏込めの形状より、入隅という枡形が直角に折れ曲がる箇所に対応する。こうした構造より、枡形の規模が判明した意義は大きい。また今回の調査では瓦が出土しており、枡形に構えられた門が瓦葺きであったことも判明しており、黒野城の具体的な姿が分かった。」とコメントされています。



初出土の丸瓦

赤丸：前回出土の石列、青丸：今回出土の石列

図は研究会作成資料「黒野城本丸の想像図」より引用
記事写真は「岐阜市教育委員会 発掘資料」より引用

古文書の解析作業

当研究会では、2年程前から御望の旧家3家である郷家より夥しい量の古文書を預かり、古文書部会を発足させて目録作成に取り組んできました。

目録づくりは、当研究会会員で岐阜市歴史博物館・学芸員の望月良親氏と共に、古文書を一枚・一冊・一包単位に古史料専用の封筒に入れ、表面に整理番号を割り振る作業から始めました。一封筒単位毎に文書の作成年（和暦・西暦・月・日）、表題、作成者、差出人、数量、形態（枚・冊・包等）を調査し、それらを一覧表に記入及び写真撮影の上、望月氏の確認を通して完了となります。

古文書は、作成者の個性による字体の独特なくずし方が表れていることや、現在使用されていない漢字や文言が含まれるため、非常に多くの時間と労力を費やす結果となっています。

～郷家についての解説～

古文書を預かることになった郷家は、本家及び2家の分家から成っており、古くから郷土に大きく貢献してきました。

分家の1家である郷隆雄家（8代目当主）の文書目録（全248史料）は、本家（郷光彦家）2代目佐太夫源實晃の次男徳之進實継を祖とする家で旗本松平下野守に仕え、2代目實元は儒学・詩文を能くし旗本松平長門守の家老職を務めました。4代目實善（隠居後は餘齋）は2代目實元に劣らず儒学・詩歌を能くし、松平長八郎・隼之丞・隼人の3代に仕えました。餘齋に関する文書はほとんどが幕末であるものの、約340年前のものも存在しています。この家の屋号は「躬耕舎（きゅうこうしゃ）」で餘齋は私塾を開き、黒野内外に多くの門人を輩出し、郷土の教育水準向上に大きな役割を担ってきました。また旗本3代に仕えたことで、当時の江戸・上方（大阪）を初めとする日本全国の文書・絵図等の情報が手に入り、それらは子弟への新鮮な教材として大いに活用されたと想像できます。郷隆雄家の文書の大半は餘齋の時代のもので非常に保存状態がよく、日本史上一級品と言ってよいほどの価値の高い史料も含まれます。

一方、本家の郷光彦家（11代目当主）の文書目録（全32史料）は既に完了しています。初代郷只右衛門源實光は延宝3年（1675）生まれ、本家の屋号は「楽山堂」で、3代目と伝えられているが、行灯の灯火用油の間屋を営み始め、莫大な富を築き上げたと言われています。4代目佐太夫實晃（鎗聖伊東一刀齋の高弟）は美濃大垣藩に御用金係として出仕しています。

またもう1つの分家の郷幸利家（7代目当主）の文書は現在調査中で、本家や分家の郷隆雄家を遥かに凌ぐ量です。



研究会の活動報告 (2014.09 ~ 2015.10)

主な定番事業

1. 研究活動・・・隔月毎の「研究会開催」、「古文書の調査」
2. 地域の市民対象活動・・・黒野小学校での「ふるさと黒野検定子ども版」の実施、紙芝居の上演、歴史講演、城下町案内、「黒野会館まつり」「校区文化祭」で展示、黒野城の美化活動（草刈り、ゴミ拾い）
3. その他・・・武将隊活動、会報・マップ・リーフレット等の発行等々・・・



ふるさと黒野検定子ども版メダル



校区文化祭（平成26年）



黒野城の美化活動

新しく始めた事業

1. 黒野小土曜日教育活動・ふるさと学習
2. 黒野探訪
3. 会報「蘇る！黒野城」の発行
4. 研究会フェイスブックの開設



黒野探訪



フェイスブック開設



ふるさと学習



紙芝居上演



黒野城下町ジオラマ学習

1年間の主な活動行事



黒野城武将隊 (仮装行列)



長良川おんぼく 御望山ふもとの古代ロマン探訪&梨の食べ比べ



外堀土塁跡の竹藪伐採作業

分類	事業名	年月												備考		
		H26(2014)						H27(2015)								
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
研究活動	1 研究会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2ヶ月毎開催・事業報告・研究発表 黒野会館にて
	2 調査・研究活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	個人・グループなどの調査・研究成果を発表
	3 郷土古文書調査(御望山3家・目録作成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	会場 黒野会館
	4 第2回関ヶ原古戦場陣地めぐり									○						第1回以外の地を見学
	5 「黒野城主加藤貞泰 関ヶ原合戦の史料研究」発行											○				100部発行、ホームページで公開
	6 外部団体との交流会											○				関ヶ原町役場、北方町文化保護協会
黒野小	1 土曜教育活動「ふるさと学習(黒野城等)委託 新事業	○													○	6年生城下町見学・5年生シオリマ学習・低学年紙芝居
	2 ふるさと黒野検定子ども版	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4・5・6年生対象・年度末に表彰
	1 結芝居の上演	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大垣中日文化センターは真久家、おんぼく等は明善寺・超勝寺
講演	2 歴史講座「長良川藩鎮と黒野」望月良樹氏	○														黒野会館約50名参加
	3 歴史講座「ふるさと岐阜の戦国時代」高橋方紀氏	○													○	黒野会館約60名参加
	1 長良川おんぼく参画(企画・案内)	○													○	定員15名(H26参加費1,000円・H27参加費1,500円)
史跡案内	2 黒野まちづくり協議会・黒野探訪 委託 新事業	○													○	第1回巡り55名参加・第2回巡り46名参加
	3 大垣中日文化センター一行案内 委託															12名案内
	4 NPOふれあいの森自然学校 委託															17名案内
	5 西部ふれあいウォーキング大会一部案内 委託														○	7校区約60名
	1 校区文化祭出展														○	黒野城関係展示 黒野小体育館(2日間)にて
展示	2 会館まつり出展														○	黒野城関係展示 黒野会館(2日間)にて
	3 岐阜信用金庫黒野支店 委託														○	黒野城関係、パネルなど1ヶ月間展示
	1 専修案内版 「小川市跡とカ女の力競べ」企画														○	設置場所は古市場熊野神社南に予定
環境	2 美化活動 花壇・草刈・ゴミ拾い	○													○	史跡案内前に実施
	3 史跡の整備 榎手副土塁跡の竹藪伐採 新事業														○	埋もれている史跡の整備
	1 武将隊校区運動会に仮装行列出場(案内行事参加)														○	各案内行事で武者姿披露「黒野城武将隊」出場
その他	2 会報「蘇る黒野城」編集・発行 新事業	○														創刊号発行
	3 ホームページ開設(フェイスブック) 新事業	○													○	活動状況の紹介
	4 マップ「訪ねてみよう黒野城下町」改訂版発行														○	7,000部(カラー)印刷
	5 リーフレット「黒野城」改訂版発行														○	8,000部(単色)印刷
	6 その他広報活動														○	新聞社・ホームページ・情報誌・関ヶ原町・北方町など
	7 活動資金の確保(地域企業など寄附金活動)														○	マップ、リーフレット印刷費、案内板製作費などに活用

会報『蘇る！黒野城』Vol. 2

発行 者 : 黒野城と加藤貞泰公研究会 会長 郷 孝夫
 発行 年 日 : 平成27年11月(2015)
 編集 者 : 篠田 哲郎・河口 耕三・戸川 文男・松井 直樹
 問合せ・連絡先 : ホームページ facebook.com/kuronojyo

TEL 090-1786-6564 河口耕三